



各 位

平成 21年 5月 11日

会 社 名 若築建設株式会社  
 代 表 者 名 取締役社長 福島 章雄  
 (コード番号 1888 東証第1部)  
 問 合 せ 先 執行役員財務部長 衣 非 勉  
 TEL (03) 3492 - 0273

業績予想の修正及び販売用不動産評価損の発生に関するお知らせ

当社は、最近の業績等を踏まえ、平成20年11月7日に公表した平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(単位:百万円)

平成21年 3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	87,000	1,000	100	△ 6,500	△52円69銭
今回修正予想(B)	82,400	100	△ 560	△ 7,880	△63円87銭
増減額(B-A)	△ 4,600	△ 900	△ 660	△ 1,380	
増減率(%)	-5.3%	-90.0%	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成 20年 3月期)	91,138	953	809	607	4円93銭

平成21年 3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	84,300	850	280	△ 6,400	△51円88銭
今回修正予想(B)	79,200	△ 110	△ 880	△ 8,430	△68円33銭
増減額(B-A)	△ 5,100	△ 960	△ 1,160	△ 2,030	
増減率(%)	-6.0%	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (平成 20年 3月期)	85,579	809	226	135	1円10銭

※前回発表予想数値は平成20年10月1日発表の中期経営計画の数値と同一です。

## 2. 修正の理由

### ①(個別業績予想)

売上高につきましては、主に民間建築の選別受注徹底による完成工事高の減少により、前回予想数値より51億円減少する見込みです。

完成工事高は減少するものの、原価管理の徹底、現場効率化等の施策により工事利益率が上昇し、完成工事総利益は、前回予想数値より3億円増加する見込であります。

今後も、中期経営計画の中核である「安定した黒字体質の構築」を推し進めてまいります。

(単位:百万円)

	前回予想数値 (a)	H21年3月期 (予想) (b)	増減(b)-(a)
完成工事高	81,200	76,100	△ 5,100
完成工事総利益	4,790	5,100	310
利益率	5.9%	6.7%	

※前回予想数値は平成20年10月1日発表の中期経営計画の数値と同一です。

不動産事業等は市況が低迷する中、販売活動等に注力いたし、売上高、利益額ともに前回予想数値を上回る見込みでした。これに販売費及び一般管理費の削減を併せ、経常利益の確保を行う予定でした。しかしながら、予想を超える地価の急激な下落により、当社の保有する販売用不動産について、将来の事業収益性を考慮し、より厳密な方法で評価の見直しを行った結果、販売用不動産評価損を15億円計上することといたしました。併せて、為替差損等の発生により、誠に遺憾ながら 8億円の経常損失となる見込みであります。

当期純利益につきましては、同日付で発表いたしました投資有価証券評価損を加え特別損失が59億円となりますので、84億円の損失を予定しております。

### ②(連結業績予想)

個別業績の修正及び、持分法適用会社の業績の影響による修正です。

以 上